



毎月開催されるPTA連合会常任理事会。ここでは活動報告の他、今後の事業の進め方などについて、意見交換が活発に行われる。



PTAとは保護者(Parent)教職員(Teacher)協会(Association)の頭文字を取ったもので、学校と保護者が協力し、全ての児童生徒のために活動する団体です。最近では地域住民(Community)が加わった、PTCAという考え方が広がっています。保護者、教職員、地域住民、それぞれの立場から活動している人たちに話を聞きました。詳しくは地域子ども支援課☎(740)1215へ。

今どきのPTAに参加してみませんか？

おとなが協力して取り組む姿を見せる

PTA。子どものために学校の手伝いをしていくといった、漠然としたイメージは持っていても、きちんと理解している人は意外と少ないのでは。知っているようで知らないPTAのことについて、10年以上関わっている市PTA連合会会長の中井成郷さんに聞きました。

PTAの役割って何？

昭和42年6月23日に文部省社会教育審議会がPTAの意義について報告を出しているんですが、簡単に言うと、保護者と教師が協力して、子どもたちが健やかに育つための環境を整えたり、充実に図ることです。また、そのために自分たちも学びあう会員組織がPTAといったところでしょうか。

どんな活動してるの？

PTAは各小学校、中学校

時間に余裕のある人が活動しているの？

PTAの活動って「別にやらなくても」「余裕のある人がやればいい」と思う人もいるかもしれませんが。でも、おとなが協力して何かに取り組んでいる姿を子どもに見せることって、大切なんじゃないでしょうか。小さな子どもを持つ親の中には、PTAの活動に不安を持っている人もいます。確かに負担になる部分はないとは言えませんが、身構えずに、みんなで子育てする大きな意味での家族と捉えてもらいたいですね。できる範囲で活動に参加してもらえればと思います。

見直してほしいの？

連合会では、皆さんが参加しやすくするため、PTAの活動も昔のままではだめだと考えているんですよ。そこで、3年前から連合会が旗振り役となって、改革に取り組んで

ごとに組織されていて、それぞれのことを「単位PTA」と呼んでいます。各単位PTAで体制や環境が違いますから、自然と活動の内容も異なります。

主には学校行事の運営協力や、研修会の参加、学校や子どもたちの様子を地域に伝えるための広報、通学時の見守りなどがあります。

そして、各単位PTAから代表が集まった組織があります。「PTA連合会」と呼んでいます。連合会では、情報交換や進路、食育、人権などに関

するセミナーを開催して、保護者に学びの場を提供したり、取りまとめた方が効果的な事業などを行っています。今年も、子どもと一緒に保護者も成長しようという「保護者の学び」をテーマに取り組んでいるんですよ。成長期に必要なカルシウムについて学ぶセミナーや、人権を学ぶ映画上映会などをやりました。

今後も「こころはぐくみフォーラム」や和食の魅力を学ぶセミナーなどを企画しています。PTA会員以外も参加できるものがあります。ぜひ参加してほしいですね。

また、広報活動として年2回広報紙を発行する他に、フェイスブックでも情報発信しています。「川西市PTA連合会」で検索してもらえれば見つかると思います。



市PTA連合会会長 中井成郷さん

います。その活動は本当に必要なのか、今の時代に合っているのかといった観点から見直したり、みんなの負担をできるだけ少なくしようと、役割を統合するなど、現状に合うよう変えていっているんです。それに最近では、PTAに地域(コミュニティ)を加えたPTCAという考え方もとに活動するようになってい

中には「逆に子どもたちから元気をもらってます」という人もいらっしやるんですよ。そういう声を聞くと、これからの川西を担う子どもたちが健やかに育つためには、家庭と学校、地域が手をとり合うことが大切なんだと感じますね。子どもを持つ親でなくても、できることはあると思います。少しでも多くの人に、関心を持ってもらい、活動に参加してもらえればうれしいですね。



1. 年数回のお掃除隊では普段は行き届かないところもきれいに 2. 地域の祭りの盛り上げに一役 3. 通学の安全を毎日見守る 4. プール開放で安全に目を配る

中学校に上がったから、何か特別変わったことがあるかといえば、そんなに違いはないように思います。小学校でPTA活動を経験しているからか、不安に感じることもあまりなかったですね。

中学校って、教科で先生が違いますよね。クラス担任の先生とは、懇談会でお話できますが、教科の先生とお話をする機会はあまりないですね。保護者が学校に行く回数も減りますし、学校との関わりも少なくなりがちです。

PTAで活動していると、担任以外の先生と接点ができますし、学校での普段の子どもの様子がよく分かるので、やってよかったと思います。

緑台中学校では、全ての家庭が活動に関わるように、「1

中学校 PTA

緑台中学校 PTA 会長 友田千晃さん

自分にできることでお返りする

家庭「活動」ということにして、みんなで分担するようにしています。

私も仕事をしながらなので、時間のやりくりは大変な時もあります。働き方によっては、なかなか参加できない人もいると思います。

でも、それはお互い様ですし、家でできる作業もありますから、自分のできることを探して、助け合っています。

今年、会長を務めることになって、いろんな人たちのお世話になって子どもは成長しているんだなということに改めて感じました。

子どもがこれだけお世話になっていてんだから、自分ができることで、お返しができればいいなと思って活動しています。



それぞれの PTA 会員に聞く やってみて分かったこと

小学校 PTA

清和台小学校 PTA 会長 堀共代さん

PTA 3年目になる今年、会長をすることになったんです。正直、はじめはあまり気がすすまなかったんですけど、いろんな場面で会長として名前が出ますから、その重さに耐えられるのかな、自分なりに務まるんだろうかって。でも実際に動き出すと、一人でしないといけないことって、ほとんどないんですよ。会議で学校を出るときは、副会長さんが取り仕切ってくれるし、書記さんや会計さんにも助けてもらっています。周りのサポートがあつてのことなんです。本当にありがたいなって思います。

学校って、PTAがいることでうまく回っている行事って、多いと思うんです。役員に限らずみんなの協力が

子どもの明るく元気な姿が何より

がないと成り立たないんだって、以前よりも、より感じるようになってきましたね。

私も仕事をしているので、ちょっとしんどいなって思う時、もちろんあります。

でもやってよかったなって思えることが多かったですよ。ね。知識や、人とのつながり、情報だったりいろいろありますけど、子どもたちのために、本当にたくさんの方が動いてくれているんだっていうことに気付けたことも大きかったです。

今は、自分なりに楽しんでやろうって心掛けてるんですよ。自分自身にとってプラスになることもありますし、子どもたちが元気で明るく育ってくれる姿を見ることができると、何よりですから。



あんぱい
まま
かわにし

教職員

明峰中学校長 丸山浩志

保護者と教職員のつながりを大切にした活動に

3年間、そして今年もPTA 連合会の毎月の会議に出席し、「すべてはかわにしの子どもたちのために」というスローガンのもと、さまざまな活動に尽力されていることを間近に感じてきました。

学校・園のPTA活動では、総務の人や役員の皆さんが、忙しい中、仕事や家の事に時間の都合をつけて、子どもたちや学校を支援していただく活動に、真摯に責任を持って取り組んでいただいていることに、本当に感謝しています。ありがとうございます。

役員をされた多くの人が、「大変なことあったけれど、学校に来る機会が増えて学校や子どもたちの様子がよく分かるようになり、先生と話す機会が増えました。何よ

り保護者同士が仲良くなって子育てなどについて話をするのができて良かったです」と言われます。

私たち教職員も、PTA活動を共に行うことを通して、また懇談会などで、保護者の皆さんと子どものことや学校の教育活動について意見を交し、互いの思いを理解したり、共に学ぶ機会を少しでも多く持つていければと思います。

保護者も教職員も忙しい現実があります。できるだけ負担が少ないスリムな活動の中にも、「参加して良かった」と意義を見いだせるような、そして教職員と保護者が子どもたちのより良き成長のために協力し合える「つながり」を大切にしたいPTA活動になっていければと思います。



地域の力を

地域の子どもは地域で育てる

今までのPTA（保護者と教職員）にC（地域）の力が加わったPTCA。

子どもは、家庭と学校だけで育つのではなく、地域の中での、いろいろな人との関わりで大きく成長します。

昔は自然と、いろんな年齢の子も同士や地域のおとなとの交流があり、その中で子どもたちはさまざまな体験をし、成長してきました。

しかし、現在ではそういった環境が少なくなってきたり、成長してきませんでした。

そこで、家庭と学校、地域が連携を強めて子どもたちを育てるという考え方が提案されました。それがPTCAです。

家庭と学校、地域がお互いに協力して、子どもたちを育

あなたが持っている、特技や知識 川西の子どもたちのために 生かしてみませんか？

【参加可能な取り組みを紹介】

■学校安全協力員

子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、登下校や学校内の見守り、声掛けを行います。詳しくは青少年センター☎(759)9424または、各学校へ。

■放課後子ども教室

各小学校区で地域の人たちが、子どもたちに学習やスポーツ・文化活動などを教えます。将棋やお花などの体験教室、ドッジボールやダンスなどの運動教室、英語や理科実験などの学習教室などがあります。詳しくは地域こども支援課☎(740)1215へ。

■学校支援地域本部

ボランティア登録した地域の人が、依頼のあった学校の教育活動をサポートする制度です。図書活動の支援や学習支援、外国籍の生徒への日本語サポートなどがあります。詳しくは地域こども支援課☎(740)1215へ。

■こどもをまもる110番のおうち

地域の家庭や事業所が、同運動のプレート・安全旗を常時掲示し、子どもたちが助けを求めやすくすることで、子どもを犯罪から守り、被害を抑えます。詳しくは青少年センター☎(759)9424へ。

子どもたちに、自分の持っている特技や知識を伝えたい、子どもたちの安全を見守りたい。

そんな思いはあっても、どうしたらいいのか分からない、これまできっかけがなかった、そんな人はいませんか。

市ではそういう人たちの力を借りることで、子どもたちの健やかな成長を助け、「ふるさと川西」の担い手として、地域社会全体で育てていきたいと考えています。

年に数回でも構いません。資格や条件がないものもあります。

川西の子どもたちのために、何かできることはないかと考えているあなた。ぜひ、連絡をお願いします。

近所の子どもも自分の子どもと同じ

てる。そこで育った子どもたちが、おとなになって、次の子どもたちを育てる。そして地域も活性化する。

そんないい循環ができるように、各学校区で取り組みは広がっています。

地域の人やスポーツや文化活動を教えながら、異世代間の交流を深める「放課後子ども教室」や子どもたちを見守る「学校安全協力員」、自治会行事などの地域活動を協力して行うなど、その取り組みはさまざまです。

近所の子どもも、自分の子どもと同じように育てる。そんな意識が大切になってくるのではないのでしょうか。

未来を担う子どもたちのために、できることから始めてみませんか。

地域の一員としてPTAに関わる

久原桂子さん

子どもが学校に行っている時には、PTAとして活動に参加していましたし、会長も3年経験しました。その当時、地域の人たちに助けをもらうことは、もちろんあったんですが、お互いに遠慮があったのか、少し距離があるように感じました。

PTAと並行して、地域の青少年育成委員長をやるようになって気付いたんです。PTAでいる期間ってそんなに長くないし、特に役員は、基本的に毎年交代します。そんな中で、学校に入っていた方がいい部分があるんじゃないかって。

そこで、自分はたまたま両方の立場を経験しているんだから、お互いのつなぎ役になれたらいいなと思ったんですね。

行事や会議の時には、できるだけ間に入るようにしましたし、放課後子ども教室も立ち上げました。

大事なものはお互いの事情を理解すること

お互いにできること、できないこと、やってあげたいこと、やってほしいこと、そういう部分では人それぞれですね。でも「子どもたちのために」という思いは、一緒だと思います。

子どもたちが毎日笑顔でいられるように、PTAも地域もそれぞれの事情を理解し合って、協力できる関係が続けばいいなと思っています。

PTAやコミュニティの役員を終えた後も、地域の一員として、また、学校図書館司書や放課後子ども教室の指導員として、できるだけ牧の台小学校に、関わっていきたく思います。

私自身、子どもたちのよることぶ顔を見ることで、元気をもらっていますから。



あんぱい
まきまき
かわにし

安心して充実した活動ができるよう応援します

市では、全ての小・中・特別支援学校で活発にPTA活動が行われています。現在会員数は1万1000人を超え、各学校で子どもたちや学校を支える、さまざまな取り組みが展開されています。

PTAは今から約90年前にアメリカで誕生し、その後、日本でも結成され、あつという間に全国に広まりました。

そんな中、本市が誕生した昭和29年、各学校のPTAの連合体である、市PTA連合会が設立。その後60年以上、歴代の役員を中心として「子どもたちの健全育成」を目標に、活動してこられました。

役員選出には、いろいろな課題があり、毎年、各学校で悩まれています。しかし、役員経験者からは「はじめは不安もあったけど、とても良い経験になった」という声をよく聞きます。学校に行く機会



地域こども支援課長
大屋敷美子

が増え、これまであまり話したことなかった先生と話をしたり、保護者同士のつながりができたりと、新しい出会いが豊かな時間となっています。これは、PTA活動の目的の一つである「活動を通して保護者も成長する」ということを見事に実現されているのだと思います。

また、各学校区では、登下校の見守りや放課後子ども教室、図書ボランティアなど、PTAと地域が連携して子どもたちを育てる活動が行われています。今後子どもたちの成長を保障するため、PTAと地域が深い関わりを持つことが大切だと思います。

これからも保護者の皆さんが、学校や地域で安心して充実したPTA活動ができるよう、応援していきます。